

水戸市議会議員選挙
予定候補者として

森 ちよ子

さんの

立憲民主党公認を
決定しました!



森ちよ子さんの主張を紹介します。

子育てしやすい水戸市へ
教育が未来をつくる。

わが子の不登校をきっかけに、教育の問題を真剣に悩むことが増えました。行政で行っている不登校への支援は大変ありがたいけれど、型どおりのものも多く、とても悩んだこと、自分たち親子が社会からぽつんと取り残された、という苦しい想いを痛感したことを覚えています。そのような経験から、未来をつくる子ども達のために、誰ひとり取り残さない教育を実現したい、公教育を変えていきたい、と思い市政に挑戦する決意をしました。

不登校の居場所づくりというけど、自分の長女の場合には、不登校や引きこもりの子だけを集めた居場所は、合わない居場所でした。不登校や引きこもりにも、色々なタイプがあって、行かないと選択する子もいれば、もう、どうしても行けない、生きるか、死ぬかの場合もあります。そして、その中間もちろん。時の経過と共にその段階も様々。段階に応

じた対処方法も様々です。必要なことはそれぞれの段階に応じた適正な支援です。

一つの場所でなく、多種多様な色々な場所があって欲しい。そうすれば人は、自分にあう居場所(=コミュニティ)を取捨選択できるようになっていく。それが一つの豊かさであるとも感じています。

自立して生きていける力をつけてくれる社会。その子のタイミングに応じて、多様な考え方があることに触れられる居場所。そんな居場所を、行政を通じた公教育の中でも、もちろん民間の教育の中でも、実現していきたいと考えています。

「教育が未来をつくる」。不登校の問題を筆頭に、子育てしやすい水戸市へ。母としての想い。財政支援のあり方なども考慮しながら、たくさんの市民のみなさまと話し合いながら、一緒に具体的な政策への提言をしていきます。

森ちよ子



森ちよ子さんインタビュー

「一人ひとりに寄り添うこと」を実践していきたい

4月に行われる水戸市議選で立憲民主党の公認が決定した、森ちよ子さんにお話をお聴きしました。

—森さんはどのような子ども時代を過ごしましたか？

森 かなり貧しい家庭でした。貸家に妹と父母と4人暮らし。銚子市に生まれて、神栖町、大野村、大洋村、旭村と父の仕事の関係で引っ越し、何度も転校しました。中学入学時の通学かばんは、新品を買ってもらえず、高校時代は家計を助けるために新聞配達やコンビニでアルバイトをしていました。

—そのときご本人は、どんな思いでしたか？

森 高校時代はバイトをしながら勉強をする日々。「自分もみんなと同じように塾に通いたい」と思っていました。懸命に働く父と母の姿を見て、

とてもそんなことは言い出せませんでした。だから、親の収入によって、学校外を含めて教育を受ける機会が制限されることがない社会でありたいと強く思っています。

—最後に、森さんのこだわりを教えてください。

森 「どんな境遇の子どもにも学んだり、人と繋がる場所が提供される社会」や「経済的に困窮している子どもたちにも教育を受ける機会が与えられる社会」を実現したい、という思いを強く持っています。そのためにも、たくさんの方々と話す機会を大切に、本当の意味で「一人ひとりに寄り添うこと」を実践していきたいと思います。

—ありがとうございました。

主な水戸でのまちづくりの活動



●びぜんほり×こいのぼり2015・2016 (しもいち交流会での活動)



●西野亮廣講演会in水戸2017 (主催者として実施)



●千波湖シェアマルシェ2023 (実行委員として活動)



●趣味を通してまちと繋がる「スナックちよ子」(2017年から現在まで営業)

森ちよ子プロフィール

1973年10月生まれ(49歳)。本町2丁目在住。銚田一高、茨城大学工学部卒業。同大学院理工学研究科・博士前期課程修了。1999年4月水戸市役所に入庁し、17年間勤務。退職後、子どもとかわる時間を大切にする傍ら、「しもいち交流会」や趣味を通してまちと繋がる「スナックちよ子」(泉町)など、水戸のまちづくり活動に取り組む。
家族：長女、次女、長男と相方の5人&ねこちゃんとワンちゃんの2匹
趣味：硬式テニス NPO法人自治経営 事務局長。



森ちよ子事務所

〒310-0815 水戸市本町1-10-11
電話：070-7588-3310
FAX：029-303-1260
メール：mori.office7@gmail.com

自己紹介 など ブログ

m-area-ameba.info/profile/



Twitter

@hosi_nao



Facebook

スナックちよ子



Instagram

@chiyoko.mori

